

令和3年度 学科集会(学習成果発表会)を行いました

1. ねらい

- (1) 同じ学科に学ぶ者同士が一堂に集うことを通して、学年の枠をこえた生徒間の意思の疎通を図るとともに互いの連帯感などを育てる。
- (2) それぞれの学年で学んだ成果を発表することを通して、生徒自身のプレゼンテーション能力と人の話を聞く望ましい態度を育てる。
- (3) 学期に1回実施することにより、学校生活における学期のビジョンや自分の取り組みなどについて考えさせる場とする。

2. 内 容

- (1) 日 時 令和4年1月21日(金) 6校時 14:30~15:20
- (2) 場 所 3F多目的視聴覚室
- (3) 対象生徒 情報経営科 1~3年 109名
- (4) 発表内容 授業成果発表
 - 1年「ビジネス基礎」 税の作文 山形税務署長賞受賞作品発表
 - 2年「ビジネス情報」 進路目標にむけて決意表明
 - 3年「課題研究」 「上山市の地域振興策の探究」学習成果発表会

(5) 次 第

進 行：情経科2年 大場玲花

1. 開 会 14:30
2. 校長先生より 14:30~14:34
3. 発 表
 - (1) 1年 税の作文 山形税務署長賞受賞(1年 伊藤瀬奈) 14:35~14:40
 - (2) 2年 進路目標にむけて決意表明(2年 山口莉奈) 14:40~14:45
 - (3) 3年 「上山市の地域振興策の探究」学習成果発表会 14:45~15:15
4. 感 想 記 入 15:15
5. 閉 会 15:20

山形新聞でも紹介されました

(13) 2022年(令和4年)1月23日(日曜日)

地域

山

開

新

地元の地域振興策提示

上山明新館高学習成果を発表

上山 上山市の上山明新館高(佐藤睦浩校長)で21日、同校情報経営科の生徒による学習成果発表会が開かれた。同市の地域振興をテーマに3年生38人が3班に分かれ、それぞれが設定した課題に対してスイーツ開発やイン

ターネットサイトの作成などの解決策を提示した。商業に関する専門的な知識や技術を深めることなどを目的にした課題研究の一環で、毎年3年生が取り組んでいる。本年度は昨年9月に開始し▽市内産農産物を活用したスイーツの新商品開発▽同校のキャラクター「めいのすけ」のアニメーション制作▽市内の飲食店を紹介するサイトの作成について、学んだ成果を

1、2年生らに披露した。このうちサイト作成班は県立産業技術短期大学校(山形市、尾形健明校長)の知能電子システム科の協力を得て、店舗の内装や一押し商品の写真、地図などを掲載。明新館高の生徒を対象に、気軽に食べに行ける店舗を紹介することで商業の活性化につながるという企画内容や、それに伴う効果などを解説した。長岡佑晟さん(18)は「未完成だが、自分が普段使うようなサイトを作れたと思う。市内の観光名所の掲載ができなかったのが、後輩



上山明新館高の情報経営科3年生が地域振興策の研究内容を披露した学習成果発表会
＝上山市・同校

たちには取り組みを引き継ぎ、このサイトにもっとさまざまな情報を盛り込んでいってほしい」と話した。
(鈴木潤)

参観していただいた御来賓の皆様

山形県議会議員
農林水産常任委員会委員長
遠藤 寛明 様

NPO法人かみのやまランドバンク
理事長
渡辺 秀賢 様

上山市商工会
事務局長
渡邊 和彦 様

上山市商工課 商工振興係
主任
片桐 慎太郎 様



佐藤睦浩校長より期待を込めた講話



情報経営科生徒全員が 久しぶりに集いました



1年生の発表からスタート



2年生は学校の中核としての自覚をもって決意を述べました



3年生は 上市市の振興戦略について探究・考察を行った内容を報告しました



情報経営科では 商業の学びを通じて ビジネスに関する
知識や技能を身につけ 企業経営や地域経済の振興につい
て探究・考察を実践しています